

**(仮称)岡崎げんき館整備運営事業
審査講評**

平成18年1月12日

(仮称)岡崎げんき館整備運営事業提案審査委員会

- 目次 -

| | |
|--------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 第 1 審査委員会の構成..... | 2 |
| 第 2 審査委員会の開催経過..... | 2 |
| 第 3 審査の方法..... | 3 |
| 1 基本的な考え方 | 3 |
| 2 審査の流れ | 3 |
| 3 資格審査 | 4 |
| 4 提案価格の確認 | 4 |
| 5 事業提案審査..... | 4 |
| 6 総合評価 | 5 |
| 7 優先交渉権者の選定 | 5 |
| 第 4 審査の結果 | 5 |
| 1 資格審査 | 5 |
| 2 提案審査 | 6 |
| 3 総合評価 | 8 |
| 第 5 審査講評 | 9 |
| 1 加点審査における各審査項目の講評 | 9 |
| 2 審査の総評 | 14 |

はじめに

(仮称)岡崎げんき館整備運営事業は、岡崎市（以下「市」という。）が、平成16年9月16日に、民間の資金、経営能力、技術力の活用により、財政資金の効率的活用を図り、効果的かつ合理的な公共サービスの提供を図るため、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（以下「PFI法」という。）に基づく事業として実施方針を策定及び公表し、平成16年12月14日に特定事業として選定された事業である。

今回の応募者の提案内容は、これら事業を行う上で、市の要求事項等に対して、何れの応募者も意欲的に取り組み、施設の設計・建設、維持管理及び運営の各業務について、応募者のノウハウや創意工夫が発揮されたものとなっており、その熱意に対し、多大な敬意を表したい。

「(仮称)岡崎げんき館整備運営事業提案審査委員会」（以下「審査委員会」という。）は、平成16年5月12日に公告された、「(仮称)岡崎げんき館整備運営事業提案審査委員会の設置及び運営に関する要綱」に基づき、6月1日に設立された。審査委員会は、その設立された第1回会議より当該講評をまとめた第10回会議まで、概ね1年8ヶ月間において、事業計画の把握、特定事業の選定、事業者募集要項等の公表、提案審査、優秀提案の選定までを、適切かつ客観的な評価をもって審査を進めてきた。

当該事業は、市が初めてPFI法に則り行う事業であり、関心度の非常に高い事業として注目され、この地方のリーディングプロジェクトとしての成果が計られるものでもある。審査委員会は、市が、この事業を実施することにより民間の能力を積極的に活用し、効率的な整備及び維持管理、運営と、質の高い公共サービスの提供等が図られることを期待することに鑑み、事業者から提出された提案書の内容を公平、公正に審査し、客観的に評価を行うことを推進してきた。当該審査講評は、これら審査の経過を踏まえて、審査の方法、審査の結果を掲載しながら、事業者の提案項目のそれぞれに対応する各審査項目の講評と、全般をとおして論ずる総評を、審査基準書に則り、整理整合してまとめたものである。

平成18年1月12日

(仮称)岡崎げんき館整備運営事業提案審査委員会
委員長 奥野信宏

第1 審査委員会の構成

事業提案の審査は、透明性及び公平性を確保することに基づき、以下の委員により審査委員会を構成した。

| 役職 | 職氏名 |
|-----|---------------------------|
| 委員長 | 奥野信宏 (中京大学総合政策学部長) |
| 委員 | 渡邊昭彦 (豊橋技術科学大学建設工学系教授) |
| 委員 | 湯浅景元 (中京大学体育学部教授) |
| 委員 | 神藤浩明 (日本政策投資銀行東海支店企画調査課長) |

第2 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は以下のとおりである。

| 日程 | 会議名 | 主な議題 |
|-------------|------------------|---|
| 平成16年6月1日 | 第1回審査委員会 | ・審査委員会の設置及び事業計画について |
| 平成16年9月2日 | 第2回審査委員会 | ・実施方針について ・施設・運営計画書について |
| 平成16年11月26日 | 第3回審査委員会 | ・特定事業選定について ・審査基準について ・事業者募集資料について |
| 平成17年1月28日 | 第4回審査委員会 | ・審査基準について ・事業者募集資料について |
| 平成17年3月15日 | 第5回審査委員会 | ・審査基準について ・事業者募集資料について ・契約書案等について |
| 平成17年7月11日 | 第6回審査委員会 | ・資格審査について ・審査手順及び審査基準の確認について |
| 平成17年10月3日 | 第7回審査委員会 | ・提案事業者提案書提出結果について ・提案審査(基礎審査)について ・提案審査(加点審査)について |
| 平成17年10月21日 | 第8回審査委員会 | ・提案審査(加点審査)について ・提案事業者への質問事項について |
| 平成17年11月1日 | プレゼンテーション及びヒアリング | ・提案事業者による提案内容に関するプレゼンテーション及びヒアリング |
| 平成17年12月2日 | 第9回審査委員会 | ・提案審査(加点審査)について ・総合評価について |
| 平成18年1月12日 | 第10回審査委員会 | ・審査講評について |

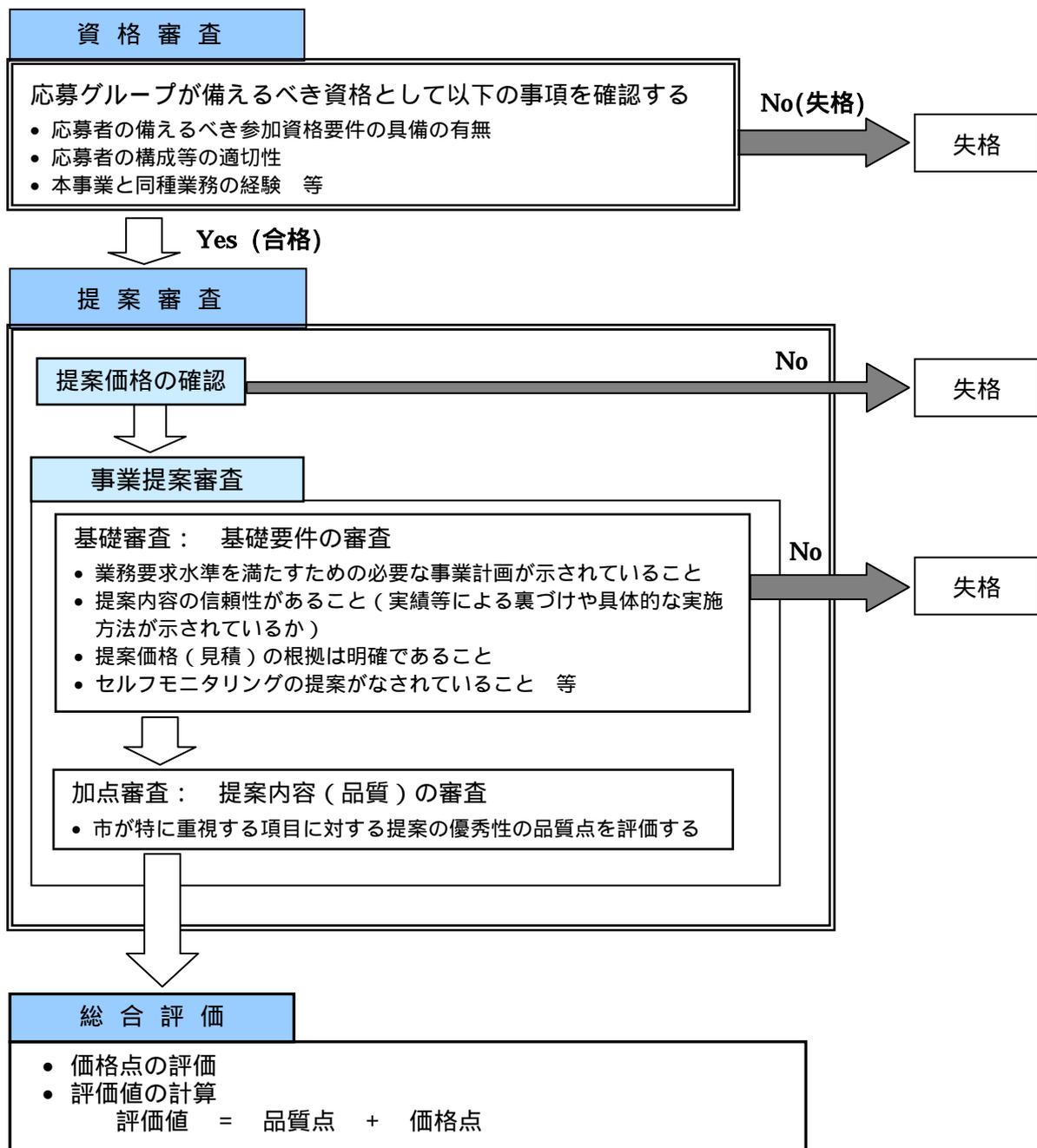
第3 審査の方法

1 基本的な考え方

審査は、事業者の資格の有無を判断する「資格審査」と、事業者の提案内容等を審査する「提案審査」の二段階に分けて実施した。資格審査では、応募者の参加資格及び事業の実施体制について市が審査を行い、提案審査資料の提出を求める応募者を選定した。提案審査においては、価格、本事業の各業務に関する具体的な提案内容の審査を行った。

2 審査の流れ

審査の手順は以下のとおり。



3 資格審査

応募者の構成員及び協力企業が、募集要項に示す参加資格の要件を満たしているかどうかを審査する。1項目でも要件の未達項目があれば失格とする。また、本事業に対する基本的な考え方及び事業者の実施体制について審査を行い、市の要求を満たさないと評価された場合、事業者は提案審査に参加することはできない。

4 提案価格の確認

応募者の提案価格は、事業期間中（維持管理・運営期間 25 年 1 ヶ月）に市が事業者を支払う現在価値換算前のサービス対価の総額から消費税及び地方消費税を控除した金額とし、市が想定する PFI 事業を行う上での財政支出のうち、市が事業者を支払う現在価値換算前のサービス対価の総額から消費税及び地方消費税を控除した金額（以下「基準価格」という。）と比較し、それを下回っている確認を行う。市が設定する基準価格は 15,934 百万円とする。

5 事業提案審査

「基礎審査」と「加点審査」に分け、提案の審査を行う。

(1) 基礎審査

提案価格が基準価格の総額を下回っていることが確認された応募者の提案内容が、基礎審査項目を充足しているかについて審査を行う。基礎審査項目を充足している場合は合格とする。1つでも要件を満たしていない場合は失格とし、以降の審査は行わない。

(2) 加点審査

加点審査においては、市が特に重視する事項を審査項目として設定し、これらに関して、優れた工夫や配慮がなされている提案、その他、独自性、革新性の高い提案に対して、提案内容の具体性や実現可能性の観点から評価する。提案の程度に応じて加点する最高は 50 点とする。なお、加点審査の採点方法は、各加点項目について 4 段階評価により得点を付与する。

6 総合評価

(1) 提案価格審査

以下の算出方法で価格点を算出する。価格点の有効数字は小数点第二位以下を四捨五入した値とする。ただし、50点を満点とする。

(算定式)

$$\text{価格点} = \left[\frac{\text{基準価格} - \text{提案価格}}{\text{基準価格}} \times \text{定数} \right]^{1/2}$$

定数 = 7,500

(2) 評価値の計算

品質点と価格点を加算した値を評価値とし、評価値が最大となった提案を優秀提案として選定する。

(計算式)

$$\text{評価値} = \text{品質点} + \text{価格点}$$

評価値が、同点の提案として2つ以上あった場合は、品質点の上位の提案を優秀提案とする。それでも優秀提案が決定しない場合は、くじ引きにより優秀提案を決定する。

7 優先交渉権者の選定

市は、審査委員会による評価の結果を基に優先交渉権者及び次点交渉権者を選定する。

第4 審査の結果

1 資格審査

平成17年5月20日までに、次のグループから参加表明書及び資格審査書類の提出があり、募集要項に示す参加資格の要件の具備及び事業の実施体制等について審査をした結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認し、平成17年5月30日付けで、その資格確認通知と公表を行った。

< 参加表明企業一覧 >

| 登録番号 | 代表企業 | 構成員 | 協力企業 |
|------|----------|---|---|
| 1 | 大成建設株式会社 | 丸ヨ建設工業株式会社 大成サービス株式会社 シンコースポーツ株式会社 株式会社日本水泳振興会 学校法人安城学園 株式会社タスク・フォース | 株式会社環境デザイン研究所 |
| 2 | 清水建設株式会社 | 小原建設株式会社 酒部建設株式会社 株式会社合人社計画研究所 セントラルスポーツ株式会社 株式会社ゼクタ | 株式会社 I N A 新建築研究所 都市企画株式会社 セノー株式会社 |
| 3 | 鹿島建設株式会社 | 株式会社日建設計 株式会社フジケン 株式会社シーテック 株式会社日立ビルシステム 株式会社エクセントロイヤル | 蓮建築設計事務所 山崎建設株式会社 TKサポート株式会社 株式会社アーテック |

2 提案審査

(1) 提案価格の確認

応募者の提案価格と、市が想定する PFI 事業を行う上での財政支出のうち、市が事業者に支払う現在価値換算前のサービス対価の総額から消費税及び地方消費税を控除した金額（基準価格）とを比較して、応募者の提案価格が基準価格を下回っていることを確認した。

(2) 事業提案審査

ア 基礎審査

基礎審査項目チェックシートに基づいて、応募者の基礎要件の確認を行った。また、提案書だけでは不明確な箇所については、応募者に質問書を送付し文書による回答により確認を行った。なお、応募者からの回答をもっても不明確な箇所については、市が応募者に対する再質問を行うことを審査委員会として了承し、再質問に対する回答結果について報告を受けた。

以上から、応募者 3 グループとも基礎要件を満たすことを確認し、基礎審査は合格とした。

イ 加点審査

審査基準書において示す審査項目に基づいて審査を行い、提案書だけでは不明確な箇所については、応募者に対する質問書を作成し文書での回答を得た。また、審査委員会は、加点審査を行う上で、提案事業者の提出した提案書における記載事項を更に明確にするために、応募者 3 グループに対して提案内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングを実施（平成 17 年 11 月 1 日）した。

これらを踏まえて、それぞれの委員が評価内容の程度に応じて 4 段階評価により加点を行い、その結果を合議して得点を付与した。加点審査の結果は、次表のとおりである。

< 加査審査結果 >

| 加査審査項目 | | 配点 | 評価 | | | |
|--------------|-------------------|--------------|---------|---------|---------|--------|
| | | | 登録番号 1 | 登録番号 2 | 登録番号 3 | |
| 1 施設計画 全般 | (1) ユニバーサルデザイン | 1.0 | 0.8125 | 1.0000 | 0.8750 | |
| | (2) 環境への配慮 | 1.0 | 0.8750 | 0.8750 | 0.5000 | |
| | (3) 自然エネルギーの活用 | 1.0 | 0.8750 | 0.8750 | 0.8750 | |
| | (4) 施設配置、平面、動線計画 | 2.0 | 1.5000 | 1.7500 | 1.3750 | |
| | (5) ライフサイクルコストの縮減 | 1.0 | 0.6250 | 0.7500 | 0.7500 | |
| | (6) 改修計画 | 1.5 | 0.7500 | 1.0313 | 1.2188 | |
| | (7) その他 | 3.0 | 2.4375 | 2.6250 | 2.4375 | |
| 小計 | | 10.5 | 7.8750 | 8.9063 | 8.0313 | |
| 2 施設計画 各論 | (1) 保健衛生施設 | 1.0 | 0.7500 | 0.7500 | 0.6250 | |
| | (2) 市民健康づくり支援施設 | 2.5 | 2.5000 | 1.8750 | 1.8750 | |
| | (3) 子ども育成支援施設 | 1.0 | 1.0000 | 1.0000 | 0.7500 | |
| | (4) 市民交流支援施設 | 1.0 | 0.8750 | 1.0000 | 0.6250 | |
| | (5) 外構計画・駐車場計画 | 2.0 | 1.5000 | 2.0000 | 1.7500 | |
| 小計 | | 7.5 | 6.6250 | 6.6250 | 5.6250 | |
| 3 維持管理 計画 | (1) 維持管理計画 | 3.0 | 2.6250 | 2.6250 | 2.6250 | |
| | 小計 | | 3.0 | 2.6250 | 2.6250 | |
| 4 運営計画 全般 | (1) 運営計画 | 0.5 | 0.3750 | 0.3125 | 0.3125 | |
| | (2) 人材と職場環境 | 1.0 | 0.8750 | 0.6250 | 0.7500 | |
| | (3) 事業の効果的連携 | 1.0 | 0.8750 | 0.8750 | 0.8750 | |
| | (4) 安全対策・緊急時対応 | 0.5 | 0.5000 | 0.3125 | 0.3125 | |
| 小計 | | 3.0 | 2.6250 | 2.1250 | 2.2500 | |
| 5 運営計画 各論 | (1) 保健衛生事業 | 1.0 | 0.7500 | 1.0000 | 0.7500 | |
| | (2) 市民健康づくり支援事業 | ア 事業目的の理解と反映 | 1.0 | 0.8750 | 1.0000 | 0.8750 |
| | | イ 必須提案教室 | 1.5 | 1.1250 | 0.9375 | 0.9375 |
| | | ウ 提案教室 | 0.5 | 0.5000 | 0.4375 | 0.3125 |
| | | エ 教室の柔軟性・継続性 | 1.0 | 0.7500 | 1.0000 | 0.8750 |
| | | オ 利用促進 | 1.0 | 1.0000 | 0.8750 | 0.7500 |
| | カ 健康度評価事業 | 2.0 | 1.7500 | 2.0000 | 1.7500 | |
| | (3) 子ども育成支援事業 | ア 利用者サービスの向上 | 2.0 | 1.7500 | 1.7500 | 1.7500 |
| | | イ 子育て支援 | 1.0 | 0.6250 | 1.0000 | 0.8750 |
| | (4) 市民交流支援事業 | ア 優れた情報発信 | 2.0 | 2.0000 | 1.7500 | 1.0000 |
| イ 市民活動の支援 | | 1.0 | 0.7500 | 1.0000 | 0.6250 | |
| (5) その他運営事業 | ア 市民サービスの向上 | 1.0 | 0.8750 | 0.8750 | 0.7500 | |
| | イ 広報活動 | 1.0 | 0.6250 | 0.6250 | 0.7500 | |
| 小計 | | 16.0 | 13.3750 | 14.2500 | 12.0000 | |
| 6 事業計画 | (1) 資金調達計画 | 2.0 | 1.5000 | 1.5000 | 1.5000 | |
| | (2) 資金収支計画 | 2.0 | 1.5000 | 1.5000 | 1.5000 | |
| | (3) リスク管理 | 3.0 | 2.2500 | 2.2500 | 3.0000 | |
| | (4) 事業継続及び安定性の方策 | 3.0 | 2.6250 | 2.2500 | 2.2500 | |
| 小計 | | 10.0 | 7.8750 | 7.5000 | 8.2500 | |
| 合計 | | 50.0 | 41.0000 | 42.0313 | 38.7813 | |

(3) 提案価格審査

応募者 3 グループの提案価格から、審査基準書において示す算出方法により価格点を算出した。

| 応募者 | 登録番号 1 | 登録番号 2 | 登録番号 3 |
|---------|----------------|----------------|----------------|
| 基準価格(円) | 15,934,000,000 | | |
| 提案価格(円) | 10,622,663,370 | 11,620,745,000 | 11,369,067,509 |
| 価格点 | 50.00 | 45.10 | 46.40 |

応募者の提案価格は価格点の評価を行うために算出したもので、事業者が想定する、事業期間中に市が事業者を支払う現在価値換算前のサービス対価の総額から消費税及び地方消費税を控除した額である。

3 総合評価

以上の結果を踏まえて、品質点と価格点を加算して評価値を算出し、総合評価を行った。その結果、評価値が最大となった登録番号 1(代表企業:大成建設株式会社)を優秀提案者、次に評価値が高い登録番号 2(代表企業:清水建設株式会社)を次点提案者として選定した。なお、総合評価の結果は、下表のとおりである。

< 総合評価結果 >

| 応募者 | 登録番号 1 | 登録番号 2 | 登録番号 3 |
|-----------|---------|---------|---------|
| 品質点 () | 41.0000 | 42.0313 | 38.7813 |
| 価格点 () | 50.00 | 45.10 | 46.40 |
| 評価値 (+) | 91.0000 | 87.1313 | 85.1813 |

第5 審査講評

1 加點審査における各審査項目の講評

(1) 施設計画全般

| 加點審査項目 | 審査講評 |
|---------------|---|
| ユニバーサルデザイン | <p>各グループともユニバーサルデザインの理念に基づく優れた計画を具体的に提案している点が評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、エレベーターの要求水準以上の設置など身体障害者に対するきめ細かな配慮がなされている点が特に高く評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、音声や映像による案内の提案がなされている点が評価された。</p> |
| 環境への配慮 | <p>各グループとも環境保全や環境負荷の低減の提案や周辺環境に配慮した景観形成・建築デザインの提案が評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、周辺環境に配慮した緑化駐車場整備の提案がなされている点が高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、環境性能の高い計画目標の具体的な設定やCASBEEを取り入れた計画の提案がなされている点が高く評価された。</p> |
| 自然エネルギーの活用 | <p>各グループともそれぞれが独自の手法（自然換気、地熱利用、井水活用など）で自然エネルギーを活用する計画としており、提案内容は異なるものの、その効果や実現性について高く評価された。</p> |
| 施設配置、平面、動線計画 | <p>各グループとも複合施設の利点を活かし、オープンスペースとクローズドスペースを仕分した計画の提案がなされている点が評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、利便性の高い保健衛生施設の動線計画や情報ライブラリーを中心にしたわかりやすい空間構成が高く評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、プールや情報ライブラリー整備の雰囲気の評価された。</p> |
| ライフサイクルコストの縮減 | <p>各グループとも都市インフラの高度な使用方法を比較検討したうえで、具体的なシステムの導入の提案がなされている点が評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、健康増進プールの光熱水費の削減やメンテナンスコスト削減の手法が提案されている点が高く評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、ライフサイクルコストの縮減目標を設定し、実現のための具体的手法が提案されている点が高く評価された。</p> |
| 改修計画 | <p>各グループとも既設改修建物の利便性、耐久性向上に資する改修計画が提案された点が評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、新設建物と既設改修建物との一体的なデザインに配慮し、かつアルミパネルの使用による耐久性の向上にも配慮した優れた改修計画が提案されている点が高く評価された。</p> |
| その他 | <p>各グループとも事業の魅力を高める独自のノウハウを活かした多様な計画や、災害時の地域防災施設としての提案が、地域貢献の観点から評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、特に立体駐車場を活用した災害時の仮設住宅整備の提案が高く評価された。</p> |

(2) 施設計画各論

| 加点審査項目 | 審査講評 |
|-------------|--|
| 保健衛生施設 | <p>各グループとも各室の配置計画や動線計画が配慮された提案が評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、市民の利用に配慮した屋上広場と一体の待合コーナーの配置などが提案されている点が高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、1階に事務室を設置することによる利用者の案内への配慮がなされており、利便性の高い諸室配置が提案されている点が高く評価された。</p> |
| 市民健康づくり支援施設 | <p>各グループとも健康増進プールの魅力を高める複数の追加機能が提案された点が評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、健康増進プールの魅力を高める複数の追加機能の提案や、管理運営面で優れた可動床の導入の提案、安全性に配慮した監視設備の提案など、独自のノウハウが活かされている点が特に高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、利用者の利便性や管理面に配慮した更衣室の確保の提案が評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、優れた衛生管理手法の導入が高く評価された。</p> |
| 子ども育成支援施設 | <p>各グループとも利用者の安全性や利便性、快適性に配慮した具体的な提案がなされている点が評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、児童の遊びに配慮した遊具などの具体的な設置がなされている点が特に高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、児童の遊びに配慮したフレキシブルで開放感のあるゾーン形成の配慮などが提案されている点が特に高く評価された。</p> |
| 市民交流支援施設 | <p>各グループとも市民の利便性に配慮した具体的な提案が評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、情報ライブラリーとギャラリーとラウンジの開放性のある空間構成の提案が特に高く評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、回遊性を持たせた空間や連続性のある諸室の配置に配慮した提案が高く評価された。</p> |
| 外構計画・駐車場計画 | <p>登録番号2の提案は、地域のイベント利用に配慮したステージの設置や、立体駐車場による敷地の有効利用、利用者の安全性に配慮した歩行者専用通路が提案されており、総合的に特に高く評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、イベントと一体利用できる駐車スペースの提案や、立体駐車場による敷地の有効利用が提案されている点が高く評価された。</p> |

(3) 維持管理計画

| 加点審査項目 | 審査講評 |
|--------|--|
| 維持管理計画 | <p>各グループとも維持管理しやすい施設であるための施設・設備の長寿命化などの具体的な提案や維持管理業務を円滑に行うための業務体制と具体的な方策の提案がなされている点が評価された。</p> |

(4) 運営計画全般

| 加点審査項目 | 審査講評 |
|------------|--|
| 運営計画 | 各グループとも事業の目的及び実施方針の実現に寄与する提案がなされていた。 登録番号1の提案は、長期にわたる事業期間に配慮したライフステージ運営計画が提案されている点などが高く評価された。 |
| 人材と職場環境 | 各グループとも専門スタッフの確保や配置、資質向上に寄与する研修等の機会確保を図る具体的な提案が評価された。 登録番号1の提案は、スタッフの職場環境の向上を図る業務ローテーションの実施の提案がある点などが高く評価された。 |
| 事業の効果的連携 | 各グループともそれぞれの業務内容を理解し、各運營業務及び維持管理業務との効果的かつ効果的な連携を図るための具体的な計画が提案されている点が評価された。 |
| 安全対策・緊急時対応 | 各グループとも安全対策・緊急時対応の方策や AED(自動体外式除細動器)の設置、防災訓練や講習会等の実施の提案がなされている点が評価された。 登録番号1の提案は、緊急時に対する施設スタッフの意識の向上を図るために、スタッフ全員に資格を取得させる提案がなされている点が特に高く評価された。 |

(5) 運営計画各論

| 加点審査項目 | 審査講評 |
|-------------|--|
| 保健衛生事業 | |
| 保健衛生事業 | 各グループとも多様な来館者への対応と市との円滑な業務連携についての具体的な提案がなされている点が評価された。 登録番号2の提案は、外国人利用者や障害者等の利用者に対するきめ細かな配慮が提案されている点が特に高く評価された。 |
| 市民健康づくり支援事業 | |
| 事業目的の理解と反映 | 各グループとも事業目的の理解と提案への反映が十分なされており、地域性を考慮した計画が提案されている点が評価された。 登録番号2の提案は、市民の利便性を考慮した運営時間の延長の提案がなされている点が特に高く評価された。 |
| 必須提案教室 | 各グループとも一次予防を目的とした教室の内容、十分なプログラム数、実施時間が提案されている点が評価された。 登録番号1の提案は、専門医、専門家等との連携や健康度評価事業との連携の提案がなされている点が高く評価された。 |
| 提案教室 | 各グループとも事業目的を反映した幅広いニーズに応える独自の教室を提案している点が評価された。 登録番号1の提案は、施設の有効利用を図る十分な実施時間と豊富なプログラム数が提案されている点が特に高く評価された。 登録番号2の提案は、施設の有効利用を図る十分な実施時間が提案されている点が高く評価された。 |

| 加點審査項目 | 審査講評 |
|------------|---|
| 教室の柔軟性・継続性 | <p>各グループとも教室の柔軟性と継続性を確保する方策として、利用者ニーズを反映する具体的な手法が提案されている点が評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、事業の魅力を維持する具体方策として独自の各種イベントと、品質運用管理システムの導入などの提案が特に高く評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、事業の魅力を維持する具体方策として独自のイベント型の教室の提案が高く評価された。</p> |
| 利用促進 | <p>各グループとも想定利用者数については年間13万人から15万人の利用を見込んでおり、いずれも高い水準が期待される提案であり、また、利用者カードの具体的な提案があり、運用については市民の関心を高める付加的サービスの提案が評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、開業1年前からの利用者カードの発行やイベントの開催などの提案が特に高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、地域のイベント等への支援業務の提案とした点が、高く評価された。</p> |
| 健康度評価事業 | <p>各グループとも評価項目等の設定、処方提案の内容、受診率向上の方策について一定の提案が評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、対象者等に応じたきめ細かな処方提案のメニューが提案されている点が高く評価された。</p> |
| 子ども育成支援事業 | |
| 利用者サービスの向上 | <p>登録番号1の提案は、子どもたちの個性を伸ばす独自のカリキュラムの実施、利便性に配慮した16時以降の託児への対応などの提案が高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、監視カメラの設置による安全対策や、一時託児業務におけるおやつ提供などの配慮が高く評価された。</p> <p>登録番号3の提案は、一時託児業務における安全性や信頼性の確保のための独自のサービスの提供などの提案が高く評価された。</p> |
| 子育て支援 | <p>登録番号2及び登録番号3の提案は、子育て支援事業を促進する子育て中の親を対象とした独自のセミナーやイベントの開催の提案が評価された。</p> |
| 市民交流支援事業 | |
| 優れた情報発信 | <p>各グループとも情報ライブラリーの具体的な運営方法の提案が評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、本施設で行われる教室等の記録を蓄積し、それを活用する提案などが特に高く評価された。</p> <p>登録番号2の提案は、利用者の利便性を高める情報ライブラリーにおける独自のサービスの提供の提案などが高く評価された。</p> |
| 市民活動の支援 | <p>各グループとも施設貸出手続方法、受付の仕組みについては利用者の利便性を高めるための具体的な運営方法が提案された。</p> <p>登録番号2の提案は、施設利用者に対する利用者カードの発行と市民活動団体等の利用者の利便性を高める事務支援サービスの提供の提案などが特に高く評価された。</p> <p>登録番号1の提案は、周辺地域と連携した販わいの創造が期待される事業の実施が提案されている点が高く評価された。</p> |

| その他運営事業 | |
|-----------|--|
| 市民サービスの向上 | <p>各グループとも市民満足度調査の具体的な把握方法と反映方法が提案されている点が評価された。</p> <p>登録番号 1 及び登録番号 2 の提案は、市民サービス向上のための利用者や市・スタッフの意向の把握についての配慮された提案が高く評価された。</p> |
| 広報活動 | <p>各グループともメールマガジンの発行などを含むホームページの運営や情報誌等の発行、イベントの開催などの具体的な提案がなされている点が評価された。</p> <p>登録番号 3 の提案は、地元企業と連携した独自のイベント等の開催や、利用者の特性を考慮したパンフレットの作成に工夫が見られる点が高く評価された。</p> |

(6) 事業計画

| 加點審査項目 | 審査講評 |
|--------------|---|
| 資金調達計画 | <p>各グループとも資金調達の安定化のための提案がなされており、評価される点は異なるものの、それぞれに一定の評価ができる。</p> <p>登録番号 1 の提案は、出資構成の観点から構成員の高いコミットメントが示されている点が高く評価された。</p> <p>登録番号 2 の提案は、自己資本の充実の観点から高く評価された。</p> <p>登録番号 3 の提案は、金融機関からの融資確約書の内容から資金調達の確実性の高さが評価された。</p> |
| 資金収支計画 | <p>各グループとも評価される点は異なるものの、それぞれに一定の評価ができる。</p> <p>登録番号 1 番及び登録番号 2 番の提案は、独立採算事業に起因する収支変動リスクの影響を回避する具体的スキームが確認された点が高く評価された。</p> <p>登録番号 3 の提案は、キャッシュフロー不足への複数の対応策が具体的に提案されている点が高く評価された。</p> |
| リスク管理 | <p>各グループともリスク管理について具体的なリスク内容とリスク分担が検討されている点や要求水準以上の保険の付保の提案がなされている点が評価された。</p> <p>登録番号 3 の提案については、リスクアドバイザー等も活用しながら、より精査されている点が特に高く評価された。</p> |
| 事業継続及び安定性の方策 | <p>各グループとも事業の継続性確保に寄与するセルフモニタリングの方策については一定の提案がなされている点が評価された。</p> <p>登録番号 1 の提案は、実効性の高いバックアップサービスの確保についての提案がなされている点が高く評価された。</p> <p>登録番号 2 及び登録番号 3 の提案は、参加企業のモチベーション維持の観点から評価された。</p> |

2 審査の総評

今回の公募型プロポーザルに参加した3グループの提案は、いずれも、市の掲げる施設整備目標である「元気と活力を創造する拠点づくり」を踏まえた民間事業者ならではの創意工夫が随所に見られた。また、施設整備、維持管理及び運営業務、事業計画のすべてにわたり市の要求水準を上回る優れた提案内容であった。

審査委員会としても、本プロポーザルに参加していただいた各グループの皆様には、このような高水準の提案を提出して頂いたことに対して重ねて感謝を申し上げたい。

登録番号1の提案は、全般にわたって満遍なく高い評価が得られる内容であった。特に、施設整備計画では、環境への配慮、自然エネルギーの活用、健康増進プールの整備が高い評価を得られ、運営計画では、市民健康づくり支援事業の運営や、賑わいの創出に資する多様なイベント等の開催が高い評価を得た。価格点においては、適正な積算がされていることを確認した上で、総合的に評価した結果、優秀提案に選定された。

登録番号2の提案は、施設計画及び運営計画においての評価が高く、特に情報ライブラリーや子ども育成支援関連施設配置等の優れた空間構成や、施設全体の配置計画、効率的かつ効果的な一次予防の推進の実現性を高める健康度評価事業の提案は高い評価に値したが、価格点を含めた総合評価の結果、僅差で次点提案となった。

登録番号3の提案は、運営業務などに地元企業を軸とした運営体制により地域性に配慮したきめ細かな優れた提案が随所にみられ、特に、施設計画における既存施設の改修提案や自然エネルギーの活用提案、運営における事業の効果的連携、利用者サービスの向上、子ども育成支援事業、事業計画におけるリスク管理の提案等は、何れも高い評価で、価格点を含めて提案全体としては高い水準にあった。

なお、いずれのグループにおいても本事業の目的を踏まえて、市民活動団体や大学等と連携しボランティアの活用を図る提案がなされていた。これらは一定の評価に値するものの、長期にわたる人材の安定的な確保のための具体的な提案に課題がある。それらの解決を図るため、審査委員会としても、その仕組みが本事業を通じて成熟し、今後の市における市民等との連携のモデルとなることを期待したい。

最後に、登録番号1のグループにおいては本事業の更なる向上に努めるよう、今後、市との事業契約締結を経て、提案内容を着実に実現するとともに以下の事項に十分に配慮していただけるよう、審査委員会として要望する。

施設へのアプローチや諸室への円滑な接近、かつ、必要なプライバシー保護の観点から動線計画等を工夫すること。

人材確保の観点から地元採用を含めた雇用についての具体的な実現性や、ボランティアの活用や人材の確保についての実現性を高める工夫をすること。

市民交流を図るためのきっかけづくりや、市民協働事業への支援を確保すること。

コスト削減を図る中で、提案の品質を落とすことなく、長期間にわたる事業計画の安定化に努めること。